

各 位

会 社 名 株式会社マーベラス  
代 表 者 代表取締役社長 佐藤 澄宣  
(コード：7844 東証プライム)  
問 合 せ 先 取締役 コーポレート本部長  
野口 千博  
E-mail ir@marv.jp

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正について

##### (1) 2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 27,000	百万円 3,500	百万円 3,600	百万円 2,520	円 銭 41.67
今回修正予想(B)	28,500	2,000	2,400	1,650	27.26
増減額(B-A)	+1,500	△1,500	△1,200	△870	—
増減率	+5.6%	△42.9%	△33.3%	△34.5%	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	25,341	2,488	2,931	1,925	31.85

##### (2) 修正の理由

当社のデジタルコンテンツ事業コンシューマゲーム部門においては、人件費の高騰や、コンテンツのリッチ化により開発費が増大する中でも、新規オリジナルIPによるヒットタイトルを創出し競争力を獲得するために、「ワールドワイド展開強化」「海外シェア拡大」「開発の内製化」「優秀な人材確保」を中長期的な開発方針と掲げ、当期においても、全世界展開を前提とした完全新作のオリジナルタイトル『LOOP8』を6月より、『FREDERICA』を9月より発売いたしました当初の販売計画を下回る推移となりました。また、11月より発売した今期の最注力タイトル『ファッションドリーマー』につきましては、デジタルも含みワールドワイドで50万本に迫る売上となりましたが、当初計画からは大幅に下回る結果となりました。

アミューズメント事業において、主力のキッズアーケード筐体が国内外で非常に好調に推移し、過去最高のセグメント業績を更新する勢いであることや、音楽映像事業において舞台公演の売上がコロナ禍からの回復により増加基調であること、コンシューマゲームにおいても、前期に国内で発売した牧場物語シリーズの海外版『STORY OF SEASONS:A Wonderful Life』の販売が北米・欧州において好調に推移していることなどにより、売上高に関しては当初計画を上回る見込みとなりましたが、利益面におきましては、上記のコンシューマゲーム新作3タイトルの影響が大きく、当初想定していた収益を十分に上げることができない見込みとなりました。

以上の理由により、前回発表の通期連結業績予想数値を修正いたしました。

#### 2. 配当予想について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つと位置付け、将来の事業拡大と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。上記の通り、業績予想につきましては、修正することとなりましたが、当社の配当方針や財務状況などを総合的に勘案いたしまして、配当予想につきましては、2023年5月11日発表の期末配当1株当たり33円から変更はありません。

(注) 業績予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上